



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2022/10/30 Rd-10 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：21°C 出走台数：21台

観客数：29日(土)6,800人 30日(日)10,000人 合計16,800人

土曜日にRd9、日曜日にRd10、の2レース制で開催される最終第7大会JAFグランプリ。秋晴れの中、2022年シリーズ最終戦の決勝レースが開催された。

3番手スタートの大津選手は、スタートで1台を抜き2番手で1コーナーへ。牧野選手はポジションを一つ落としてしまう。

その直後、1コーナーで1台がコースアウト。このクラッシュ車両回収のため、セーフティカー（以下SC）が導入される。

レースは3周目に再開。しっかりとリスタートを決めた大津選手は、セカンドベストタイムとなる41秒台のラップタイムを記録しながら先行する野尻選手を追うが、その差は詰まらない。

膠着状態のまま、10周目にピットストップウインドウが開くと、チームはまず牧野選手をピットに呼び、翌11周目に大津選手をピットへ。チームはミスなく2台をコースに戻した。その後の13周目に、シケインでクラッシュが発生。2度目のSC導入のタイミングで、ステイアウト組が一斉にピットイン。

首位を走る野尻選手をアンダーカットすべくSCラインまでプッシュした大津選手だったが、これには間に合わず2番手。牧野選手は10番手走行。

18周目にリスタートすると、大津選手は40秒台のペースで首位を追うが差は縮まらない。

中断の激しい争いを繰広げる牧野選手は、20周目にひとつポジションを上げ9番手に。さらに順位を上げるべく先行車をプッシュ。27周目にはシケインでオーバーテイクを仕掛けるが叶わず。

最終ラップまで渾身の走りで前を追う2台だったが、大津選手は今季初表彰台となる2位。牧野選手は9位で最終戦を終えた。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

5：牧野任祐 9位 2022年ドライバーランキング 5位

第1予選で首位となつても、第2予選でタイムの上げ幅が少なくて中団スタートとなつてしまつた今回の2連戦。予選で沈むと決勝のペースがよくてもなかなか抜けないですし、そもそも今日のレースペースはあまりよくなくて、厳しくもどかしいレースでした。今シーズン、右肩上がりに速さはついてきたと思いますが、その中でもう一押しが発揮できず、多くの課題を残すシーズンになりました。

もっともっと上の次元を目指すべく、課題に向き合つて来シーズンに臨みます。

6：大津弘樹選手 2位 2022年ドライバーランキング 9位

集中して臨んだスタートでは1台をパスし2番手に上がることが出来ました。そこから野尻選手を追いましたが、序盤は全く歯が立たず、2度目のSC導入時にチャンスがありましたがそれも叶いませんでした。

優勝には届きませんでしたが、今シーズン初表彰台を獲得できました。

苦戦が続く今シーズン、最高の環境を準備してくれたチーム、サポート下さった協賛企業の皆様、ファンの皆様の応援に、最後に少しだけ応えられたかなと思います。

また来年、さらに速く、強くなれるように、精いっぱい頑張りたいと思います。